

令和6年9月2日

国際局国際政策課政策係  
直通 092-643-3214  
内線 2554  
担当 大堤、成田

## 本県とゆかりのある豪州ニューサウスウェールズ州で、 水素、観光、教育分野の交流を促進！

### <行程>

日時		内容
8/4 (日)	17:30-18:00	シドニー着 1. サブロー・ナガクラ・パーク訪問
	18:30-21:30	2. カウラ日本人捕虜集団脱走 80 周年記念市長主催公式夕食会
8/5 (月)	9:30-11:00	3. オーストラリア人・日本人戦争墓地献花式
	11:30-12:30	4. May Weir Memorial Morning Tea
	19:00-21:00	5. シドニー福岡県人会との意見交換会
8/6 (火)	9:30-11:00	6. セントラルシドニー・インテンシブ・イングリッシュ・ハイスクール訪問
	11:30-14:00	7. 観光セミナー・交流会
	14:30-15:00	8. 州教育省訪問
	15:30-16:00	9. 州産業貿易大臣及びエネルギー環境大臣表敬訪問
	17:30-20:00	10. 教育旅行セミナー・交流会
	18:30-20:30	11. 州関係者との意見交換会
8/7 (水)	10:30-12:25	12. エムシーアイ・カーボン社及びニューカッスル大学エネルギー資源研究所訪問
	13:10-14:30	13. オリカ社訪問 シドニー発

### 1. サブロー・ナガクラ・パーク訪問（8月4日） [カウラ]

サブロー・ナガクラ・パークは、九州電力の元会長である永倉三郎氏が、1978年にカウラを訪れた際に、オーストラリア人および日本人の戦死者墓地がカウラ市民から大切に維持・保存されていることに感銘を受け、自らの資金を拠出して永倉財団を設立し、公園として整備したものです。

記念式典参加に先立ち、訪問団は当地を訪れ、永倉三郎氏のご子息で永倉財団の理事長である永倉成二氏から、カウラ市民の憩いの場として親しまれている同パークの設立から現在に至るまでの経緯や管理状況について説明を受けました。



サブロー・ナガクラ・パーク



永倉理事長から説明を受ける知事

## 2. カウラ日本人捕虜集団脱走 80 周年記念式典市長主催公式夕食会（8月4日） [カウラ]

訪問団は、カウラ日本人捕虜集団脱走 80 周年記念式典市長主催公式夕食会に出席し、ルース・フェイガンカウラ市長や、ビル・ウェスト前カウラ市長、豪州ニューサウスウェールズ州関係者らと懇談しました。



ビーズリー州総督（中央）、フェイガン市長（左）と懇談する知事



夕食会に参加された皆さん

（参考）

カウラ日本人捕虜集団脱走事件（カウラ・ブレイクアウト）

カウラ市には第二次大戦当時、連合軍により捕虜収容所が置かれていました。1944年（昭和19年）8月5日、日本人捕虜の集団脱走事件（カウラ・ブレイクアウト）が発生し、235名の犠牲者（豪州人の収容所衛兵4名を含む）を出しました。その後、1964年（昭和39年）に日本人戦争墓地が整備され、集団脱走事件の犠牲者や戦死者等約500名の日本人が埋葬されています。本年は同事件から80周年に当たり、8月4日及び5日にカウラ市主催で記念慰霊式典が行われました。

## 3. オーストラリア人・日本人戦争墓地献花式（8月5日） [カウラ]

訪問団は、カウラ日本人脱走事件の犠牲者が眠るオーストラリア人、日本人戦争墓地で献花を行い、亡くなられた方を追悼しました。



日本人戦争墓地における献花の様子



美しく整備されている日本人戦争墓地



#### 4. May Weir Memorial Morning Tea (メイ・ウィアー メモリアル モーニングティー)

(8月5日) [カウラ]

1944年8月5日のカウラ脱走事件後、農場に逃げ込んだ脱走日本兵捕虜に、農場のメイ・ウィアー夫人がジャムとクリームを添えたスコーンとお茶を提供した逸話に基づき、カウラ日本庭園でお茶会が開催されました。メイ・ウィアー夫人の行為は、カウラの地元住民と日本人捕虜との間で、脱走後初めて行われた敬意と和解の象徴とされています。参加者には当時と同じくジャムとクリームを添えたスコーンと紅茶が振る舞われました。

知事は、「市民と市民の友好の絆と平和への思い、これを後世に伝えていくことは大変重要です。今後も、スポーツをはじめ様々な分野で未来を担う若い人たちの交流を発展させ、福岡県とニューサウスウェールズ州、日本とオーストラリアの理解と友好を深めてまいりたい」と挨拶しました。



会場の日本庭園にてビーズリー州総督  
(右)、フェイガン市長(左)と



あいさつする知事

#### 5. シドニー福岡県人会との意見交換会 (8月5日) [シドニー]

令和4年度から実施している国際人財育成事業などについての活発な意見交換が行われました。知事は、シドニーとの交流の架け橋として協力いただいている県人会の皆様には感謝を述べるとともに、「来年は、第12回福岡県人会世界大会が福岡で開催される。皆さんの里帰りをお待ちしている。」とあいさつしました。



県人会の皆様と県訪問団

## 6. セントラルシドニー・インテンシブ・イングリッシュ・ハイスクール訪問（8月6日） 〔シドニー〕

英語を母国語としない生徒が、中学校、高校の授業についていける英語力を身に付けるため、ニューサウスウェールズ州政府が設置しているインテンシブ・イングリッシュ・センター（ハイスクール）を訪問し、同施設の取組について意見交換を行いました。



あいさつする知事



意見交換の様子

## 7. 観光セミナー・交流会（8月6日）〔シドニー〕

現地旅行会社、メディア等約 50 名を招いて、本県の食・観光をPRするセミナーを開催しました。セミナー後の交流会では、八女茶や県産酒を堪能していただき、最後に全員で「炭坑節」を踊って締めくくりました。

参加者からは「アクセスや四季折々の見どころなどの情報が豊富で、非常に役に立った。早速ツアー商品を造りたい」といった声が寄せられるなど、今後、オーストラリアからのさらなる誘客が期待されるセミナーとなりました。



本県の魅力を PR する知事



現地旅行会社と意見交換する様子



## 8. ニューサウスウェールズ州教育省訪問（8月6日） [シドニー]

ニューサウスウェールズ州教育省を訪問し、マーティン・グラハム副長官をはじめとした政府関係者と両県州の教育分野の連携交流について意見交換を行いました。



意見交換を行うグラハム副長官と知事



教育省の皆さんと県訪問団

## 9. ニューサウスウェールズ州産業貿易大臣及びエネルギー環境大臣表敬訪問（8月6日） [シドニー]

同州政府アナラック・チャンシヴォン産業貿易大臣及びペニー・シャープ エネルギー環境大臣を表敬訪問し、水素エネルギー分野をはじめとした両地域の産業貿易に関する意見交換を行いました。



チャンシヴォン大臣（中央）と県訪問団

## 10. 教育旅行セミナー・交流会（8月6日）〔シドニー〕

現地学校やニューサウスウェールズ州教育省等の関係者を招いて、教育旅行先としての本県の魅力をPRするセミナーを開催しました。

セミナーでは、太宰府天満宮や九州国立博物館などの施設や、博多人形の絵付けや陶芸などの伝統工芸体験を紹介しました。現地学校関係者からは「子どもたちに伝統工芸の体験をさせたい。」「日本の学校と交流はできるのか。」といった意見や質問が多数寄せられ、盛況のうちに終了しました。



本県の魅力をPRする知事



教育旅行セミナーの様子

## 11. ニューサウスウェールズ州関係者との意見交換会（8月6日）〔シドニー〕

在シドニー日本国総領事館をはじめ、自治体国際化協会シドニー事務所、ジェトロシドニー事務所、ニューサウスウェールズ州ラグビー協会、永倉基金、現地日系商社など、本県とニューサウスウェールズ州との交流促進にご協力いただいている関係者と今後の両地域の交流について意見交換会を実施しました。



意見交換の様子



関係者のみなさんと県訪問団



## 12. エムシーアイ・カーボン社及びニューカッスル大学エネルギー資源研究所訪問（8月7日） 〔ニューカッスル〕

ニューサウスウェールズ州の水素拠点となるニューカッスルでは、二酸化炭素を固定化し、建築用資材などを製造する技術を有するエムシーアイ・カーボン社と、同社が実証プラントを設置するニューカッスル大学エネルギー資源研究所を訪問し、水素社会の構築に向けた意見交換を行いました。



研究所の説明を受ける様子



建築用資材の製造過程について説明を受ける様子

## 13. オリカ社訪問（8月7日）〔ニューカッスル〕

ニューカッスルに大規模なアンモニア製造プラントを設置するオリカ社を訪問し、水素社会の構築に向けた意見交換を行いました。



プラントで説明を受ける様子